

科目名	究タイム (総合的な探究の時間)	単位数	2	必修選択	必修
教科書					
副教材	第5次富士市総合計画(富士市総務部企画課) 広報ふじ				

教科・科目の内容

前期と後期の内容があります。どちらも課題発見・情報収集分析・検討・発表を繰り返すことで、思考力・判断力・表現力を高めると同時に、アクティブラーニングを通して知識理解を深め個人の資質・能力を高めます。

前期は「市役所プラン」、単元名を「活」とし、地域の抱える課題について取り組みます。富士市の課題を自分のこととして捉え、高校生としてできることを富士市に提案し、校外学習を通じて継続的に実行していきます。富士市職員・専門講師等による講義を聞き、現状を把握し、またフィールドワークをすることで、課題を見つけその課題に対して仮説を立て、課題解決のために生徒自らが主体的に取り組みます。富士市の要望に応え、地域の団体と連携し協働的に活動を行います。これらの活動と並行してプレゼンテーションソフトの使い方を学び、パワーポイントを活用しながら筋道を立て論理的に発表を行います。

後期は単元名を「究」とし、個人の興味・関心を掘り下げ、SDGsの観点から進路を意識したテーマを見つけ、そのテーマについて調査・研究した成果を、レポートにまとめます。まずは、前期の活動を題材にしながらレポートの型を学びます。課題の発見においては、賛否両論であるか、社会貢献・地域活性に繋がるか、持続可能であるか、グローバルに捉えられているかなどを意識し、ディベートの経験を活かして批判的多角的に思考を深めながら、論じていきます。この活動のなかでは、相互に読み合うなどの活動を通して、相手からのフィードバックを参考に改善しながら完成させます。前後期とも学年単位で発表の機会を設け、相手に伝えることの重要性、質問に対する自分なりの見解、評価・振り返りを行います。

日常生活や将来とのつながり

地域課題を自分のこととして捉え、与えられた課題を解決するのではなく、自らが課題を設定し提案・解決していきます。そのことで、高校卒業後の進路をより具体的に考えたり、引き続き研究したいテーマを発見したりするきっかけとします。情報取り扱いの知識と技術・モラルを身につけます。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

【前期】自分の住んでいる「まち」について興味・関心を持ち、日頃から問題意識を持ちましょう。富士市のHP・「広報ふじ」などを見て、富士市に関する情報を意識して集め、新聞・関連書籍に目を通す習慣をつけましょう。

【後期】世界の出来事に関心を持ち、ものごとを批判的に捉え「自分ならどうするか」を常に考えながら生活しましょう。また、進路に関する情報をより具体的に収集し、関連する本を読みましょう。

到達目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

知識・情報・体験をもとに地域課題を発見し、その課題を解決していくプロセスのなかで、思考力・判断力・表現力を高める。

評価の観点(評価方法)

- ① 知識・技能(プレゼンテーション・レポート)
自分(たち)の主張を相手に伝える技術を習得する。
- ② 思考・判断・表現(グループ発表、個人発表)
自分の考えを主張しながら、グループの意見をまとめ発表につなげる。多くの人を納得させる理論を組み立て、発表することができる。
- ③ 学びに向かう力(行動観察・フィールドワーク・グループワーク)
地域の課題や、自分の周りのことに興味を持ち、問題解決に向けて取り組むことができる。

科目名	究タイム(総合的な探究の時間)	単位数	2	必修選択	必修
教科書					
副教材	第5次富士市総合計画(富士市総務部企画課) 広報ふじ				

学期	学習内容	学習のねらい・目標	評価の観点		
			知	思	技
一学期	●前期オリエンテーション ・地域の現状、課題を知る ・フィールドワークを実施 ・ウェビングを行い、課題を焦点化する ・グループで課題を設定する ・企画書を作成する ・プレゼンテーションソフトによる発表 ・専門講師によるアドバイスをうける ・長期休暇調査の計画を立てる。	・活動の目的、内容を知る。 ・「まちづくりとは何か」知る。 ・知識・情報・体験を元に地域課題を発見し、その課題を解決していくプロセスの中で、思考力・判断力・表現力を高めることができる。 ・課題を焦点化し、その課題について高校生ができることを探究することができる。 ・情報機器を活用した表現技法を体験しながら、論理的に相手に伝えることができる。 ・学識経験者の意見を聞き、企画のブラッシュアップを図る。 ・中間発表の表現を基に、問いの見直し改善を図ることができ、次に繋げることができる。	○	○	○
二学期	・クラス内発表会 ・究タイム発表会 ●後期オリエンテーション ・前期活動を基にレポートを作成する。 ・身近な課題をブレインストーミング、KJ法でまとめる。 ・SDGs の視点を取り入れ、課題を焦点化する。 ・レポートの構成を考える。 ・課題解決策を探り提案する。 ・長期休暇調査の計画を立てる。	・地域課題に対する解決策をより深め、高校生にできることを具現化し、実現への第一歩を踏み出すことができる。 ・活動の目的、内容を知る。 ・レポートの基礎、型を理解し、定着させることができる。 ・身近な課題を発想することができる。 ・批判的多角的な思考を持ち、自分なりの問いを立てることができる。 ・レポートの構成をすることができる。 ・問いとなる課題の解決案を提案する ・独自の根拠を探し当てることができる。	○	○	○
三学期	・レポートを作成する。 ・班内発表、クラス内発表でフィードバック。 ・発表会を行い、評価・振り返りをする。	・レポートを作成することができる。 ・他者の意見から、小論文を見直す。 ・後期の活動を自己評価し、振り返る。	○	○	○

備考	
----	--